

科目名	教育と保育の心理学 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	必修	2	1	後期			
担当者名	廿 麻乃	関連する資格	保育士資格 必修 幼稚園教諭二種免許状 必修 社会福祉主事任用資格 選択				
<b>授業概要</b> 胎児期から老年期に至る過程を概観し、それを規定する内的・外的諸要因を明らかにしていく。 子どもの発達を生涯発達の視点から捉え、発達援助のあり方を理解する。 また、認知、思考、情動といった内的過程の発達を理解する。							
到達目標			成績評価方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたる各発達段階について理解する。</li> <li>自分自身の発達について振り返り、自己理解を行なう。</li> <li>乳幼児期の育ちについて説明することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>小テスト</li> <li>毎回のコメントシート</li> </ul>				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度					○	○	10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1)発達と発達心理学について				個人ワーク			
2) 各発達段階の特徴と課題（胎児期～新生児期）							
3) 各発達段階の特徴と課題（乳児期～幼児期）							
4) 各発達段階の特徴と課題（児童期～成人期～老人期）							
5) 遺伝と環境							

6) 乳児期の発達 愛着と親子関係	小テスト
7) 乳児期の発達 ことば、コミュニケーションの発達	
8) 幼児期の発達 「自分」の芽生えと自律性、自主性の発達	
9) 幼児期の発達 遊びと社会性の発達	
10) 幼児期の発達 認知機能の発達	
11) 児童期の発達 学ぶことと社会・認知的発達	小テスト
12) 思春期・青年期の発達 アイデンティティの発達とその意味	
13) 青年期・成人期・老年期の発達 働くことと世代性の意味	
14) 発達上の問題とその理解	
15) 発達援助の考え方と実際	個人ワーク
授業外学習	
2)～5)について 6)、6)～10)について 11)に小テストを実施します。復習してきてください。 自身の経験を振り返ったり、周りにいる人たちとよくコミュニケーションをとったりしてください。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時にプリントを配付します。</li> <li>[参考書]</li> <li>・「よくわかる発達心理学」(ミネルヴァ書房)</li> <li>・「乳幼児のこころ」(有斐閣) など</li> </ul>	教育と保育の心理学Ⅱ
備考	
毎回の授業後にコメントシートを記入してもらいます。授業で自身が何を学んだか・疑問点を記入して下さい。 携帯電話は、机の上に出さないこと。	